

青年委員会主催 防災カフェ開催！！

2月22日（土）19：00より二戸市「branch」にて、青年委員会女性幹事発案で「防災カフェ」を開催し、初対面の方が楽しく出会い、交流をはかり、学びました。

プログラム

- 1・主催者あいさつ 向井青年委員長
自己紹介 那須川幹事
- 2・電気なしで作れる蒸しパン作り
非常食（もしもの備え）を試食しよう！
oli-oliコーヒーの飲みながらの交流会
- 3・プレゼントタイム
防災マニュアルとドリップコーヒー
- 4・アンケート記入
- 5・「防災カフェ」終了

青年委員長 向井 元信
結成2年目で幹事からの提案
による初めての独自イベント
です。みんなで防災に対して
楽しく学んで行きましょう！



幹事 那須川 彩子
被災地を視察し、被災者の
方々の言葉が強く心に残り、
防災の重要性を感じました。
今後も様々なイベントに皆
さんの参加をお願いします。



《非常食「もしもの備え」》

お米袋「たかたのゆめ」に「白神山地の水」を入れ、モーリアンヒートバッグにお米袋を入れると、約30分で温かいご飯が出来上がります。モーリアンヒートバッグにレトルト食品も一緒に入れると、カレーライスや中華丼などとしても召し上がれます。食器にはラップを敷くと食器洗いをしなくても済むので水の節約になります。

《カセットコンロで「蒸しパン」作り》

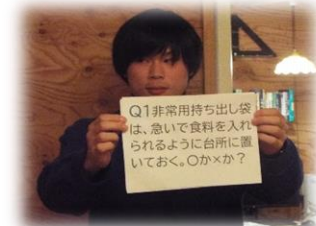
ビニール袋にホットケーキの素とお水を入れて手で揉んでから、鍋に投入すると約30分で蒸しパンが出来上がります。非常食と考えれば、十分に美味しく出来上がり、みんなで完食しました。幹事会で事前に試作した成果がありました。



《参加者アンケート》

- 1・防災の備えをしたい・学んで行く。
 - 2・楽しく学べてよかった。
 - 3・様々な職場の人と会えてよかった。
 - 4・若い人が集まりやすいイベントだった。
 - 5・防災については定期的開催してほしい。
 - 6・このような事をしたい人が集まらない。
 - 7・非常食といいながらも美味しかった。
 - 8・地域とつながりを持てるイベントを希望。
 - 9・もっと多くの職場の人と会いたい。
- など、他にも多くの感想・要望を頂きました。
参加者は女性9名・男性6名でした。

非常食が出来上がるまでは、防災クイズ大会！（門脇幹事）
回答はジェスチャーで！！
最後は皆さんに「防災マニュアル」をプレゼントしました。



「もしもの備え」のご飯の上に、一緒に温めたレトルト食品をのせて中華丼にしました。

参加者は終始楽しく会話し、交流を図りながら防災について学びました。



皆さんは「美味しいね」とか「もしもの備え」がいね！とコーヒーを飲みながら試食しました。

県北地域協議会の青年委員会は結成し1年11か月が経過しました。まだまだ手探りではありますが、今年度は二つの新しいイベントを実施しました。その中で参加者からの感想は「新しい知り合いができました」「いろんな職場の方と様々なお話を聞くことができて良かった」「仕事だけでは知り合う機会がないので、いろんなイベントを企画してほしい」など、今後の青年委員会への期待を含めた言葉をたくさんいただきます。幹事会メンバーは7人と少ない中で今後も活動を進めていきます。地協構成組織の皆さんから一人でも多くの幹事会役員選出に向けてご協力をお願いいたします。



美味しい非常食の味に満足の微笑み
向井青年委員長

自分の出番が終わり
一安心、少し休憩の
東澤青年副委員長

周りの方に馴染んで
もらえるよう会話する
川崎事務局長

初めて飲むoli-oliさん
のコーヒーを味わう、
地協の田中副議長

美味しいコーヒー
のお店と評判のoli-
oliさん



非営利型一般社団法人
(就労継続支援B型事業所)
～かたつむり～



賞味期限は5年です。



災害備蓄品「もしもの備え」とは・・・
あの東日本大震災の実体験から生まれました。緊急避難の時に大きくて重い災害備蓄品を持ち込んだ人は何人いたのだろうか。命ながら着の身着のまま逃げる場所。お年寄りや子供の手を引いて逃げる場所。食事を支援される人と支援する人の不安と疲労を軽減させるには・・・
こんな時に頼りになるのは「地域」。逃げ込んだ先に「生きる」ための支援が必要。そして「逃げた先にある安心」として、「もしもの備え」を企画し製品化にたどり着きました。